



2024年1月8日、朝8時半から博多駅前で行った新春宣言行動を行いました。同日18時から北九州地区春闘共闘が小倉駅前でも新春宣言行動を行いました。(写真右上)

博多駅筑紫口で新春宣言行動 労働組合に入って 職場、社会を変えよう

通勤中の方に向けて、「新年最初から震災や飛行機事故があり不安を感じている方が多いかと思えます。今年はどうなるか不安を抱えながら過ごす一年よりも希望を感じ一年に変えたいとみなさんも感じているのではないのでしょうか。そのためにも働き方を変えて生活できる賃金が保障される社会に変える必要があります。私たち労働組合はストライキを背景に労働者の尊厳を取り戻し、安心して働き生活ができる賃金の大幅引き上げを求めて様々な活動を行っています。私たちの活動内容をまずは知っていただき、職場に労働組合がない場合でもひとりでも入れる労働組合がありますので、ぜひ労働組合に入って職場を変え、社会を変える一員になりましょう」と訴えました。

200枚用意したビラをいれたポケットティッシュはあつという間になくなり、30分の宣言行動の予定でしたが、予定より早く宣言行動を終了しました。

2024の干支は辰年

今年挑戦したいこと



辰年生まれの方々にインタビューしました

新年にあたって決意表明

福岡県労連副議長 仙道 久嗣さん



福岡県労連副議長で福岡県国公選出の仙道です。年男4回目を迎えました。娘も今年、初の年女で、時がたつのは早いと感じています。

新年早々、能登地震による災害をはじめ、心を痛める時事が続いています。いま世の中は、IT化・デジタル化がすすみ、みなさんの周りには、スマートフォン・任天堂Switch・パソコンなど、生活の中にデジタル機器がふれています。公務職場でもデジタル化がすすめられており、政府はデジタル社会の実現をめざし、行政分野でもすすめていくことを打ち出していますが、みなさんは、どのようにお考えですか？

私は、人々の生活を「効率化・シンプル・スマート」な生活にする「便利なもの」であって、デジタルは「主役」ではないと考えています。デジタルには最大の欠点がありますが、何でしょうか？考えてみてください。

さて被災地の状況は、日々更新され、被害の大きさを目の当たりにします。その中で、国民の命と生活を守るために率先して動くのは、公務職場で働く公務員労働者です。

地方自治体や自衛隊など、さまざまな公務職場が、現地に入り対応していく中で、私の所属する国土交通省も、報道では取り上げられませんが、道路の状況を把握し応急復旧をすすめたり、道路の被災で支援物資が届けられない状況を、国の船舶で海上から搬入するなど、早期の対応をすすめてきました。

先ほどのデジタルの欠点の答えは「電気」です。私が高校生の頃、よく言われた言葉があります。「デジタルは電気がなければ、ただの箱」。災害時に一番必要なのは「人間の行動力」ではないでしょうか？「人間はアナログ」です。「デジタル」で、何もかも一つにすることは便利かも知れないけど、人間がいる限り「アナログ」な手段を学び、つながりを確保する生活スタイルが失われつつある現状をあらためて見つめ直すことが、デジタルと上手につきあう方法ではないでしょうか？

デジタルものは好きだけど、基本はアナログ人間。性格は「すぐに首を突っ込み、おかしいと思ったら口をはさんで改善するまで離さない」。こんな私ですが「身体が資本」を肝に銘じ、これからもみなさんとともに頑張りますので、今年もよろしくお願ひします。

多様性に満ちた社会に向けて

KOHO労組 Kさん



ユニバーサルデザイン検定を取得することが、今年目標です。入社して4年になりますが、求められる技術も段々と上がってきていると感じています。そこで自分の自信につながればと思い、検定を取得することを目標としました。

ユニバーサルデザインとは、年齢や障がいなどの有無に関わらず、全ての人々が情報を簡単に入手できるデザインのことを指します。

去年11月、九州セミナーに参加しましたが、セミナーで多様性に満ちた社会へと変化してきていると学びました。私もデザインのプロとして、誰でも公平に使えるユニバーサルデザインを提供できるよう、知識をつけ、スキルアップを目指す一年にしたいと思っています。

今年の目標は「動」

全労連・全国一般地域労組きずな iさん



私の今年の目標は「動」です。コロナから4年間自粛してきたので、今を楽しむためにも休日は必ずお出かけするようにしています。

友人に勧められたお店に行ってみたり、辰の御朱印をもらいに神社に行ったり、新たな発見や出会いもあり、人生が豊かになった気がします。

4年ぶりに福岡県春闘共闘新春旗開き

県労連青年部 「仲間を増やし社会を変えよう」 決意表明

1月11日、4年ぶりに福岡県春闘共闘新春旗開きがWITH THESTYLE FUKUOKAにて開催されました。(写真は1面)

冒頭、三苦議長代行より「困難な時代だからこそ労働組合の団結の力が試されている。今年は見たことがない景色をみれる春闘にしたい」との力強い挨拶がありました。その後、来賓の皆様よりご挨拶をいただき、恒例の鏡開きを行いました。

第2部は福岡県春闘共闘加盟組合と友誼団体から連帯の挨拶

をいただき、福岡県労連からは青年部の代表が壇上にあがり、「仲間づくりの活動を通じて組織を強くし、社会を変える力になりたい」との決意表明がありました。

最後は仙道副議長より「今年は辰年、悪政を絶つ年としよう」との挨拶があり、2時間があっという間の盛り上がりの中、閉会しました。



消費税廃止各界連 宣伝行動

消費税導入から35年 今こそ減税を

年の瀬も迫る12月22日に、博多駅筑紫口で消費税廃止各界連の宣伝行動が行われました。

この宣伝行動は1988年12月24日に消費税の導入が強行採決されたことから、24日に近い日程で毎年行われています。物価高騰で国民の生活が苦しい中であって、多くの経済学者が景気刺激策として消費税減税が有効と指摘していたにも関わらず、岸田首相は消費税減税を「検討もしていない」と言い切りました。

また2023年10月にはフリーランスや中小企業に大きな影響を与えるインボイス制度が実施され、実施数か月で早くも制度の破綻が指摘され、中止を求める声は広がり続けています。

寒い中の宣伝行動ではありませんでしたが、県労連の加盟組合や民主商工会や民主団体からも多数が参加して、「消費税減税で暮らしを守れ・インボイス中止を訴えました。」



24 県民春闘行動計画 (案)

- 2月1日(木) 福岡県生公連「春闘勝利建設関連労働者総決起集会」
- 2月2日(金) 北九州地区春闘共闘総会
- 2月5日(月) 全労連九州ブロック要請行動 (熊本/財務局・農政局・九州市長会・九州知事会)
- 2月6日(火) 全労連九州ブロック要請行動 (福岡/九州防衛局・九州経済産業局・九州電力・経営者協会・経済同友会)
- 2月7日(水) 全労連九州ブロック要請行動 (福岡/九州商工会議所・九州経団連)
- 2月14日(水) 公務員賃金引上げ処遇改善を求める宣伝行動 * 福岡市役所前宣伝行動
- 2月15日(木) 人事院九州事務局
- 2月16日(金) 福岡県春闘共闘地域総行動
- 2月16日(金) 春闘総決起集会 時間：18時30分～ 会場：警固公園
- 2月17日(土) 福岡 MIC 春闘総行動 (予定)
- 2月28日(水) 福岡県国公宣伝行動
- 3月10日(日) 建交労トラックパレード
- 3月13日(水) 重税反対全国統一集会
- 3月13日(水) 回答集中日、24春闘「回答速報特番」
- 3月14日(木) 全国統一行動日 (統一ストライキ) * 集結集会
- 4月10日(水) 最低賃金全国一律制の実現めざすビッグアクションデー
- 5月1日(水) 第95回メーデー
- 5月3日(金) 憲法集会

福岡県労連 労働学校

FUKUOKA UNION ACADEMY

日時 3月3日(日)
場所 県労連大会議室

- 第1講座 ~ history ~
労働運動の歩みと世界で広がる労働運動の再構築 (仮)
講師 岡山県学習協 長久 啓太氏
- 第2講座 ~ economy ~
アベノミクス長期停滞を突破する私たちの3つの対策
講師 下関市立大学経済学部教授 関野 秀明氏
- 第3講座 ~ legal basis ~
憲法が指し示す労働組合の意義と可能性
講師 福岡城南法律事務所 弁護士 西野 裕貴氏
- 第4講座 ~ communication ~
グループディスカッション

※お問い合わせ 福岡県労連事務局まで



編集後記

2024年は痛ましい震災と飛行機事故で幕開けとなりました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日でも早く平穏な生活にもどられますことをお祈り申し上げます。

今号を作成するにあたり、おめでたい雰囲気は自粛すべきではないのかと思ひ悩みました。

しかしながら冒頭の議長代行の挨拶にあったように困難なときこそ力を

あわせることが大切であり、私たち労働組合がその役割を果たす必要があるのではないかと、そのための活動をしっかりお届けすることが大切ではないかということでも今号の内容となりました。

届けたいものがまだまだ沢山ありますので、毎号毎号全力で作成していきます。お付き合いいただければ幸いです。

(編集部一同)